



TOKYO GEIDAI

2023年3月2日

東京藝術大学は石川県と包括連携協定を締結 アートを活用したまちづくりや地域活性化に取り組みます。

国立大学法人東京藝術大学（学長：日比野克彦、以下「藝大」）と石川県（知事：馳浩）は、相互の連携・協力により、「アートによるまちづくり」や「共生社会をつくるアートコミュニケーション拠点事業」「人材育成・交流」等を連携・協力事項として掲げ、2月7日（火）に包括連携協定を締結いたしました。

当日は、日比野学長、馳知事のほか、本協定の橋渡し役で、藝大及び国立工芸館の顧問でもある宮田亮平氏の立会いのもと、協定書に署名いたしました。

また、藝大出身で、現在オーケストラアンサンブル金沢に所属するバイオリニスト・若松みなみさんによる演奏も行われました。



【日比野学長からのコメント】

金沢美術工芸大学と藝大は、教員の交流だけでなく、学生のスポーツ・文化交流も行っており、私も大学3年のときに、金沢美大とはサッカーの試合をした記憶が鮮明にある。スポーツやアートは、それぞれの地域・国・言語を超えた交流を促進することのできる平和の象徴であり、世界情勢が大変なときこそ、芸術の果たす役



TOKYO GEIDAI

割が重要だと思っている。

藝大は現在、様々な地域との連携に力を入れている。それぞれの地域の文化・芸術・個性を、アートを通して発信していくことが、国の豊かな成長につながっていくと考えている。ぜひこの包括連携協定をきっかけに、石川県の素晴らしさ、日本の芸術の素晴らしさを世界に発信していきたいと思う。

【馳知事からのコメント】

石川県は、文化振興に力を入れ、文化安全保障を構築していきたいと考えている。文化の厚い土壌を支えていくためには、藝大の学生さんにも、アートや音楽に関する県内におけるさまざまな取り組みにご参加いただき、刺激も与えていただくとともに、私たち県民にとっての道しるべにもなっていただきたいと思う。

次の時代を作り上げる若者に、芸術を通じた教育の場を提供したく、できれば石川県出身の子どもたちが将来世界で活躍するアーティストになれば嬉しい。地元には金沢美術工芸大学もあるので、藝大の学生さんと刺激を与え合ってほしい。日本唯一の国立の総合芸術大学と連携ができるということは非常に喜ばしく、ここから新しく何かが始まることを期待している。



<問合せ先>

東京藝術大学 社会連携課

電話 050-5525-2030

E-mail pcd-renkei@ml.geidai.ac.jp